新卒・第二新卒以上・中途採用向け

18歳〜30代のための就職情報誌

おっちゃんとおばちゃん

日本タウン誌・フリーペーパー大賞
新創刊部門
優秀賞受賞

VOLUME 028
2022 SPRING
TAKE FREE

ドキッとするほど企業と近い。
本音の就職情報誌です。

シューカツに悩む若い君のための本

社会貢献がしたければ
強みをもとう。

50代 コンサルタント

おっちゃんとおばちゃん　フリーマガジン　search!

仕事の見え方が少し変わる
フリーマガジン

おっちゃんとおばちゃん

VOLUME 028
2022 SPRING

［協力］京都商工会議所

CONTENTS

02 ［ワークショップ報告］ 立命館大学・龍谷大学WS
03 はじめに
04 ［数十年後の私へ］ コンサルタント 上村明美さん
07 ［お知らせ］ occhan+obachan news
08 ［注目の業界人］ 新井 恭子さん
10 ［人材募集］ 株式会社イシダ
12 ［人材募集］ 日新電機株式会社
14 ［人材募集］ 株式会社アドナース
16 ［人材募集］ 株式会社マツヤスーパー
18 ［人材募集］ サンシード株式会社
20 ［人材募集］ 株式会社Fujitaka
22 ［人材募集］ トヨタカローラ京都 株式会社「FACE TO FACE」
24 ［お知らせ］ occhan+obachan news
26 occhan+obachan gadgets
27 ［京都産業大学木原ゼミ学生レポート］ LaVita
28 ハンズのひと手間

www.occhan-obachan.com

はじめに

年をとるのがこわい。
そう悩んでいる若者がいます。
「若いって、可能性の塊なんだよ。今なら何にだってなれる。どんな夢も叶う。若いあなたが羨ましい」
しきりに、周りの大人がそう言うそうです。
だから、1歳ずつ年をとることで、自分がその可能性から遠ざかるような気になる。
それがこわくてたまらないそうです。

本誌で出会う大人、「おっちゃんとおばちゃん」たちは、若いときには叶わなかったことが、「今の年齢だからできる！」と喜んでいます。
身についていなかったスキルが備わり、やりたかったことができるようになり、幸福感で満たされる。

若いときには、何もできなかったのに年々できるようになってくる。
そんなことが、いっぱいあるのです。

就活を迎える皆さん、
どうか、この本でそんな例をたくさん知って
「おっちゃんとおばちゃん」と呼ばれる年齢に自分がなったとき
どんなに楽しいのだろう、と想像してください。

年をとるということは、一歩ずつやりたいことに近づいていくことなんです。

『おっちゃんとおばちゃん』編集長　円城新子

今号の求人は、
変化を恐れず、現状に満足しないことが成長につながると知っている。
そんな会社を特集しました。

求人は10ページから

祝 開催50回突破！

こんな質問、していいんだろうか…が聞ける！

おっちゃんとおばちゃん編集部と大学生が開催する 学生と企業がスーツを着る前に話すワークショップで本音をぶつけよう！

コロナ以前から開催していた、大人に素朴な疑問をぶつけるワークショップ（以下WS）。オンライン開催に移行して、50回を突破しました。「大人とちゃんと話したこともないのに、シューカツでいきなり採用・不採用みたいな真剣勝負してつらくない？」という思いがきっかけで始まったWS。まずは、信頼できる大人たちと『仕事観』について話し合ってみませんか？

（参加企業は順不同・以下敬称略）

1/21 今の時代、半導体不足の影響はありますか？

立命館大学 理工学部 4年生 岡尾宗一郎さん×『おっちゃんとおばちゃん』編集部

「シューカツ、ほぼ今回がはじめて」、そんな理系2人、文系1人の3人によるワークショップが開催された。「海外進出の際、他国の企業との差別化ポイントは？」「半導体不足の影響は？」といった事業に関する質問や、「入社したらどんな経験が積めるのか」「技術と営業間のつながりはある？」といった質問が出た。理工学部ならではの目線が光る質問が飛び交った。

立命館大学
岡尾宗一郎さん

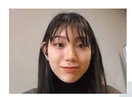
日新電機株式会社

【参加企業名】●日新電機株式会社

1/21 1/25 若さにはどんな価値があるんですか？

龍谷大学 国際学部 3年生 小田切茜さん×『おっちゃんとおばちゃん』編集部

1年生から3年生の文系女子3人によるワークショップ。働くことに関する質問が飛び交う中で、光る質問が「自分は成長して若さが失われていくことが怖い。あなたは若さに価値を感じますか？」。それに対して参加企業からは「若くて独身のときは選択肢の幅を広げやすいメリットがある。でも年を取るにつれて、経験が広がり、深まる良さもある。若さの価値とは、これから多様な経験を積める時期であるということ（若いことそのものに価値があるわけではない）」と真摯な答えが返ってきた。


龍谷大学
小田切茜さん

株式会社
マツヤスーパー

トヨタカローラ京都株式会社

【参加企業名】●株式会社マツヤスーパー　●トヨタカローラ京都株式会社

学生レポーター募集中！

今、『おっちゃんとおばちゃん』編集部は学生と一緒に作る誌面に力を入れています。学生のみなさんの素朴な疑問や聞いてみたかったことを反映して、「読み手が本当に知りたいことが載っている誌面にしていく」という方針に基づきます。さあ、「働く」について自分の目と耳で聞いて確かめたいあなたへ。ぜひ編集部にご連絡ください。一緒に誌面を作りましょう！

次回ワークショップは、右記学生たちと準備中！

●立命館大学
●京都産業大学
●花園大学

予定は変更の可能性がございますのでご了承ください。

お申し込みはメール（info@occhan-obachan.com）で！
https://occhan-obachan.com/
https://www.facebook.com/occhantoobachan/

数十年後の私へ
FILE NO.028

コンサルタント
上村（かみむら） 明美（あけみ）さん
53歳

「社会に貢献できる仕事がしたい」、
そんな目線で働く場を探すあなたへ。
「社会に対して、壮大なことをしようとしなくていい。
まずは目の前のごみ拾いから始めよう」
そう答えるのが
今号で紹介する「おばちゃん」だ。

彼女は続ける。
「社会の役に立ちたかったら、
まずは、強みをもとうよ」。

現実主義者の彼女のもとには
多くの人が悩みを持ちかける。
「相談（コンサルタント）に乗る人」という呼び名が
ふさわしい彼女に、その来歴を聞いた。

不満を言うあいだに次の道を考えよう。

撮影地：リージャス・ジャパン 京都四条烏丸センター

海運会社と伝統工芸 異なる業界をコンサルティング

上村明美さんの営む会社は株式会社マックス。ホームページを眺めても、彼女の仕事の全容を把握することは難しい。なぜなら、コンサルタントは他社のビジネスを成功させる仕事のため、表舞台に出ることは少ないからだ。

株式会社マックスのメインの顧客は海運会社で、輸出入の業務システムについてコンサルティングを行っている。海運の特徴は、飛行機輸送よりも安価で、コンテナで大量に貨物が運べる点にある。コンテナに荷を詰めて輸出入するとき、インボイス（商業送り状）をはじめ、書類が必要となる。さらに、コンテナが経由する港、送り届ける国に応じて必要な情報が異なるため、手続きは煩雑だ。かつて紙で管理されていた情報を、電子システムに移行したのは、上村さんが業界の先駆けだった。以降、NVOCC（非船舶運搬業者）向けの業務システムの提供や企業の貿易書類の管理システムを一挙に担っている。

一方で、京都の伝統工芸、五条坂・茶わん坂界隈の陶芸作家たちを紹介するイベントに携わり、企画を立てる。

「私、自分から営業はしないんですよね。頼まれた仕事を受けているだけ」と涼しい顔の上村さん。海運会社に伝統工芸と異なる業界を相手にコンサルティングが可能な理由は、ITの技術力、そして「困っている人の力になりたい」義侠心（ぎきょうしん）があるからだ。

絵と数学が好きで、土木へ 夢かなわず、あきらめる

1968年、鹿児島県の海辺にある網元の家に生まれた。漁師たちや、多くの大人が出入りする人間関係で育った。漁から戻り、その日の労をねぎらい、焼酎で宴をする漁師の膝の上で、物おじせずはしゃぐ子どもだった。

好きなのは絵を描くこと、得意科目は数学。鹿児島県立加世田高等学校の理数科から、山口大学の工学部社会建設工学科に進学する。

「社会建設工学とは、いわゆる土木です。地球の地形を変える、スケールの大きい仕事に憧れました」。

大学卒業後は、大阪に本社がある大手ゼネコンに就職する。現場で指揮を取る現場監督を志望するが、なかなか配属されない。不満を言う前に次の道を探す性格だ。画像処理も学んでいた

interviewer=Editorial Staffs writer=Rena Kure photographer= Masami Tsuji

OBACHAN'S EARLY DAYS

上村明美さんのあの頃

6歳のとき、漁師たちの膝にのってかわいがられていた「漁師のアイドル時代」の上村さん（写真右）。近所の同級生で毎日迎えに来てくれていた親友とともに。

上村さんは、いち早くCG（コンピューターグラフィックス）を駆使して立体の完成予想図を提案する。

「手描きの図面が主流の当時、『わかりやすい！　そんなことができるんですか？』と施工主に喜ばれました。大は1994年に開いた関西空港から、小はロータリー（円形交差点）のモニュメントまでCGにしましたね」。

20代にして、社内でのIT化促進を担う旗振り役も任された。会社からの評価はぐんぐん上がる一方で、当初からの希望である現場監督の配属はかなわない。待つ日々が続いたが、現場の男性の一言で、上村さんはすっぱり夢を断念することにした。

『女性はトンネル工事には入れない』と言われたんです。ほら、相撲で女性は土俵に上がれないのと同じ。神事という『常識』は変えられない。あきらめました」。

「困っている人を自分の強みで助けたい」、独立して活躍

27歳でゼネコンを退職。つながりのあった母校の山口大学の新学科・感性デザイン工学科の研究室を手伝う。29歳のときにフリーランスのITエンジニアとして独立。そこで大阪にある海運会社関連から相談された。貿易では、輸入側輸出側が同じ書類を所持する必要がある。タイプライターで複写式の書類を打つが、紙なので検索がかけられない。アナログな業界だった。

「話を聞いて、想像以上に海運の書類が煩雑なことがわかりました。社員が数字を改ざんする不正をしても見つけられない。これはITシステム導入で解決できるとひらめいたんです」。

困っている人を、自分の強みで助けたい。そんな義侠心と顧客の要望が噛み合った瞬間だった。業界に先駆けてのデータベース導入に始まり、この海運会社とは今年で25年の関係が続く。

独立以降、上村さんにはさまざまな悩みが持ちかけられてきた。人を紹介することもあれば、自分たちで解決することもある。「どうやったらITの技術を身につけられるのか？」と頼まれることが、講師派遣という次の教育事業につながる。そんなふうに、手がける仕事は広がってきた。

アナログな業界で デジタルの強みを生かす

上村さんが受けた相談のひとつが、京焼・清水焼の振興だ。建築や伝統工芸をこよなく愛する上村さんは、アナログな業界にこそ、自分の強みが生きると気づく。時代の変化にともない、陶芸家同士ややきもの販売店のつながりを新しく築く必要があると考え、陶芸家や小売店や地域の人々と共にインターネットの活用にとりかかり、有名作家・やきもの販売店等の協力のもと「五条坂・茶わん坂ネットワーク」の企画と事務局と活動を援助し、いくつもの会場での展示と連動して、ウェブ上でのオンライン展示や、販売もできるようにした。その集大成であるイベント「京都やきものWeek わん碗ONE」は2021年末に第10回を開催。新型コロナの逆風下で京都府からの助成対象に認定され、伝統工芸の作家たちが収入を得られる新しい道を示した。

「伝統産業はアナログが中心だから、私たちのインターネットの技術がまだ普及していない。そういった業界の役に立てるのはうれしいことです」。

「善きことを思い、善きことを行う」を株式会社マックスの企業理念に据えた上村さん。彼女は本気で「困っている人を助けていきたい。社会的に意義のある仕事を手がけていきたい」と考えている。意義のある仕事は利益が出にくいことも多いが、それは承知の上だ。他の仕事で得た利益を注ぎ込もうと、上村さんは決めた。

「世のため、人のため。他者のために自分の時間を使える人が増えたら、社会はもっとよくなると思うのです」。

上村さんの言葉がうわすべりしないのは、理念だけではなくITの技術という強みがあるからだ。上村さんは「一期一会」の言葉通り、一度会った人は大事にする。だから本気で話を聞くし、自分がその人にできることを考える。

理想と現実、どちらかだけでは、走り続けることはできない。理想を目指す思いと現実を動かす力、その両方が組み合わさることではじめて、理想を現実にできる。「口先だけじゃない」、かっこいい大人に出会うと、「自分たちもそうなりたい」とおじおば編集部は奮い立つ。

株式会社マックス
京都市下京区函谷鉾町
四条通室町東入ⅠOⅠ
アーバンネット四条烏丸
ビル 6階
http://www.max-corporation.com/

企業経営者
人事担当者
キャリア教育
関係者
注目！

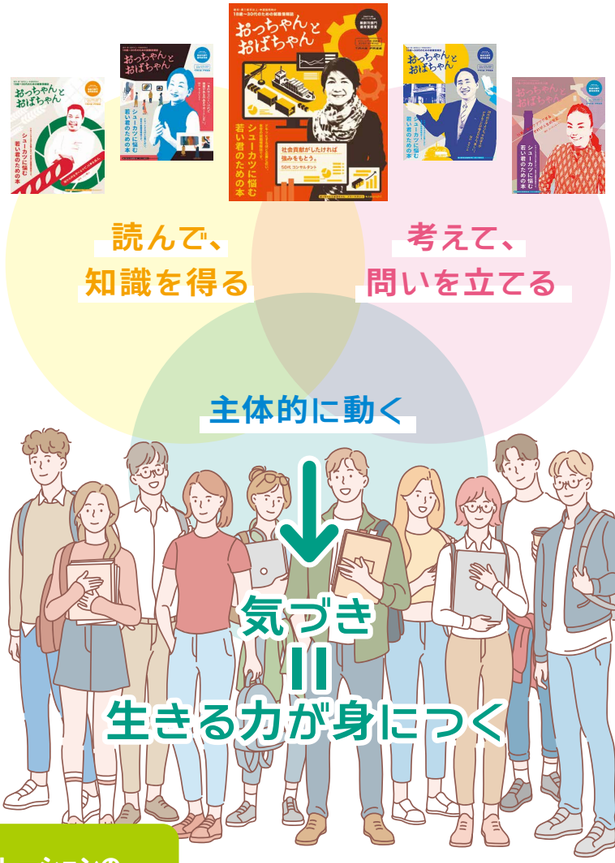
学生の力を引き出す場を目指して

おっちゃんとおばちゃんがパワーアップ！

「働いて得る幸福」を本気で考えていきます

働くことで人は成長し、生きがいを得られる――。学生や第二新卒の方々がそんな「幸福な仕事」に出会うためには、「人生に必要なもの、大事にしたいことはなにか」を見つけ、働くことの本質を考える必要があります。

では、どうしたらそんな力が養えるのでしょう？　本誌は、より学生たちの力を引き出す場となることを目指し、「学びの場」の創出に力を入れています。学生たちが「読んで知識を得る」「考えて伝える」「主体的に企画を立てて動く」力を身につけるために、従来の雑誌の発行・ワークショップに加えて、取材の同行やインターンや大学のカリキュラムとの連携を積極的に行なっています。



採用側の観点でいえば、就活が始まった学生は「自分が存在を知る企業」ばかりを追いかけがち。しかし事前に、就職活動が本格化する以前の学生との接点をつくることにより、知名度の低いBtoBの業態の企業や中小企業が、若者の「ファーストチョイス（＝最初の選択肢）」になる位置につくことができます。

「『おっちゃんとおばちゃん』と呼ばれるほどに年齢を重ねてもその仕事がおもしろいか」を大事にしようというメッセージをもつ本誌。多様性の時代に、どうしたら自分に合う企業と出会えるのか？「働いて得る幸福」を本気で考えていきます。

『おっちゃんとおばちゃん』は、さまざまなコラボレーションの実績があります。まずは気軽にお問い合わせください。
info@occhan-obachan.com

『おっちゃんとおばちゃん』は、京都産業大学の経済学部・現代社会学部のカリキュラムや、コンソーシアム京都・京都女子大学・京都芸術デザイン専門学校のインターンシップなどに全面協力しています。

注目の業界人

新しい職域

「建設ディレクター」という仕事がなぜ必要なのか？

考案者・新井恭子さんに聞く

新井 恭子

京都サンダー株式会社
代表取締役

一般社団法人
建設ディレクター協会
理事長

1972年京都生まれ。1996年京都サンダー株式会社に入社、2012年代表取締役に就任。2017年一般社団法人建設ディレクター協会設立。京都拠点として「建設ディレクター」短期資格取得事業スタート。2019年国土交通省「官民研究開発投資拡大プログラム（PRISM）」事業採択。

人手不足の建設業界に新しい職域が誕生した。その名は「建設ディレクター」。現場の抱える課題を解決し、業界のDX※1（デジタル技術による仕事改革）を牽引する仕事として注目を集める。なぜ「建設ディレクター」が必要なのか？ 考案者の京都サンダー株式会社代表取締役の新井恭子さんに聞いた。

※1デジタルトランスフォーメーション

建設業は「建物」「道路」「水道」など生活に欠かせないインフラを支える重要な産業だ。建設とは建物の建築だけでなく、基礎部分の工事や橋梁、ダムなどの土木工事も含む。現在、建設会社は全国に約※2 47万2千社、就業人口は約499万人と言われている。

老朽化したインフラ整備やメンテナンスを担う建設業界への期待は大きい。地震や土砂崩れなどの災害時、最初に駆けつけるのは地域の建設業者だ。建設業は地域を守り、「日本経済・地域の守り手」として将来が約束されている。

現場の長時間労働解決の切り札

一方で、課題となっているのが働き手の高齢化による「担い手」「後継者」不足。建設業が若者から敬遠される大きな理由に長時間労働があるが、実は現場担当者にとっていちばん時間が取られる仕事が、書類作成業務だという。なぜ書類が多いのか。たとえば公共工事の場合、国や自治体から建設会社などの元請けが仕事を受注し、そこから複数の下請けに工事を発注する。その過程で見積り、施工計画書、安全書類などの作成や、写真、図面の作成など業務は多岐にわたる。こうした書類作成が、実に業務仕事量の5割を占めると言われている。

「膨大な書類作成を肩代わりできれば、現場技術者は本来やるべき業務に集中でき、品質管理の向上やICT（情報通信技術）を活用した新しい技術へのチャレンジ、若手人材育成に取り組むことができます。そんな思いから『建設ディレクター』は生まれたのです」と京都サンダー株式会社代表取締役の新井恭子さんは話す。

DX推進と働き方改革。建設業は大改革期へ

京都サンダー株式会社は1976年の創設以来、土木工事の積算・見積りソフトの開発・販売を手がける会社だ。顧客の要請から、業務の効率化を目指す、技術者向けデジタル講座も長年実施してきた。「建設ディレクター」のアイデアはまさにその延長線上にあった。

新井さんはこの新しい職域を全国へ広めようと、2017年に社団法人「建設ディレクター協会」を設立。建設ディレクター育成講座を開催し、現在は全国各地域への出張講座も行う。

これと前後して国土交通省では、調査・測量から設計、施工、検査、維持管理・更新までの全ての建設生産プロセスでICT等を活用する「i-Construction」を掲げ、2025年度までに建設現場の生産性を2割向上させることを目指しデジタル化を推進している。

こうした国や自治体の後押しも受けて、「建設ディレクター」はこの5年間で600人誕生した。1社で2〜4名のディレクターを擁する会社もあり、今後ますます需要は高まる方向だ。

建設業界で多くの「建設ディレクター」が活躍することで、業界のDX化、「働き方改革」も一気に進むことが見込まれている。

コントロールタワーの役割を担う「建設ディレクター」

「建設ディレクター」は、現場の業務を理解し、「デジタルスキル」と「コミュニケーションスキル」で、建設現場（フロント）を管理部門（バックオフィス）から支援する職域だ。

現場とバックオフィスの連携により、業務プロセスの改善や現場間の横のつながり、情報の共有化が可能になり、それが品質強化や生産性の向上を生み出す。

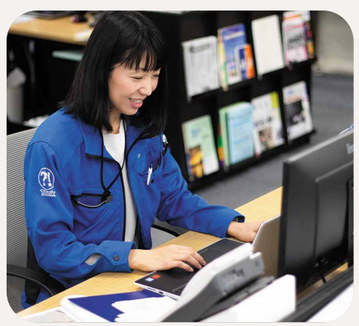
また書類作成だけではなく、ドローンによる測量、3次元設計・映像を使った現場管理など、最新技術を用いた業務が増えており、やる気次第で資格取得やキャリアアップも可能だ。「建設ディレクター」はこれまで建設業に触れる機会のなかった若者層や女性など、多様な人材に向けた新たなキャリアプランのひとつでもある。

新井さんはこう話す。「『建設ディレクター』とは仕事のアシスタントではなく、バックオフィスにいるデジタル管理者です。現場とバックオフィスがチームで働くことで仕事も企業経営もうまくいく。そのためにもバックオフィスが中心となり、コントロールタワーの役割を担うことが理想です」。

建設現場に関わる専門家として、会社の利益につながる重要な役割を担い、やりがいとともに確かなキャリアを築ける「建設ディレクター」。パソコンを通じた作業や会議が中心のため、テレワークが可能だ。コロナ禍も追い風で、家庭の主婦や地方在住で働きたい若者など、志望する働き手は増えているという。

「建設業従事者からは『地域の人から感謝されることが嬉しい』『社会貢献につながる』『ものづくりがおもしろい』と、やりがいや楽しさを見出されている声を聞いています。これからも『建設ディレクター』とともに建設業の魅力をどんどんアナウンスしていきたいですね」。

※2国土交通省調査・令和2年度3月末現在



人事部のベテランとホープが対談！

会社で働くと、どんなときにどんなふうに成長できるのか？

1960~1980年生まれ
X世代 代表
人事部の「ベテラン」

吉田 和広さん

（よしだ・かずひろ）1962年生まれ、大阪府出身。関西大学商学部卒業後、1985年入社。営業職、広報職を経て総務人事部へ。

1990~2000年生まれ
Z世代代表
人事部の「ホープ」

吉川 董子さん

（よしかわ・すみれこ）1996年生まれ。京都府出身。滋賀大学経済学部卒業後、2018年入社。理系採用担当。

「成長」とは抽象的な言葉だ。しかし、多くの人が「仕事を通じて、成長できた」と口を揃える。世界トップクラスの計量包装機器メーカー・イシダ人事部のベテランとホープが「成長」をテーマに話し合った。

経験の積み重ねが、成果につながる

吉川：入社した4年前と比較して、私自身は成長したと思います。入社直後は何が正しいのか、基準がよくわかりませんでした。最近ようやく、自分の考えを持ち、言葉にできるようになりました。仕事をしていると、さまざまな選択肢からベストな答えを導きださねばならない場面があります。しかしそれらには正解がありません。ひとつひとつの仕事を全力でやり切るという経験を重ねることで次第に自信がついてきたように思います。

吉田：確かに、入社当時の吉川さんは新卒だから、自分の意見をもつのは難しかったでしょう。吉川さんは4年でずいぶん成長しましたね。

吉川：私は理系採用担当として、説明会、座談会、インターンシップ、面接などの運営を行っています。昨夏のインターンシップでは技術系の体験ワークなどを実施しました。私の目標は、学生のみなさんが何らかの気づきを得て、「参加してよかった」と感じること。実はイシダの業務内容はほとんど説明せず「技術職とは何か」を発信することに注力しています。

「愉しい」を求めるZ世代

吉田：振り返ると、私が入社した37年前、当時の若者は「新人類」と呼ばれていました。それまでになかった価値観を持った人という意味で、年長者からは「理解しがたい」と思われていたものです。吉川さんは「Z世代」ですね。デジタル技術の発達した時代に育ったためITリテラシーが高く、それらを活用して新たな価値を提供できる仕事を望むといった傾向があるようです。

吉川：Z世代について、その分析は当てはまるように感じます。

吉田：考えの押し付けではなく、対話と寄り添いを大切にしている。個人の幸せを一番に考えるというスタンスは吉川さんの人柄そのものですね。

吉田：「たのしい」という言葉で言えば、X世代、当時の新人類は「楽しい」を求めていました。与えられた枠の中で受動的に過ごすのが「楽しさ」だった。バブル時代、扇子を振って踊るディスコが新人類の間で流行しました。対してZ世代は、自分から生まれる「愉しい」を大切にしているように見受けます。精神年齢が高く、大きな理想を掲げながらも現実的で地に足がついている印象です。

吉川：世代の違いがあるのですね。

吉田：最近話した、Z世代のある若手社員は「楽しくない」と感じる雑務を避けたいと考えているようでした。でも、大きな仕事には必ずといっていいほど雑務と感じる仕事が発生します。

吉川：確かに、「雑務をしぶしぶやっているのかも」と感じる人もいますね。もちろん雑務は大変ですが、小さなことすらできないでいると大きな仕事を任せてもらえないだろうな、と思います。仕事の意味を考え、誠実に繰り返すことで、創造的で新しい仕事が発生するのではないでしょうか。

吉田：仕事はひとつの業務で完結するのではありません。まるでピリヤードのように連鎖し、大きな成果につながることがありますからね。それにしても、取り組み方次第で、雑務と感じる仕事にも成長の種があることにくと、取り組み方次第で、雑務と感じる仕事にも成長の種があることにいてもらえるんじゃないかなあ。

吉川：確かにそうですね。

吉田：X世代とZ世代の違いをもうひとつ。説明会などのイベントで社送り出す時、かつては「がんばっていよ！」と言っていたものですが近は「愉しんでおいで！」。ここにいが出ていますね。

吉川：社員のみんなで話し合い、最

して、自分が納得した仕事ができるとやりがいを感じます。その瞬間が「愉しい」ですね。

吉田：イシダの企業理念は「三方良し」。自分だけでなく、相手も第三者も満足する仕事をしようという想いが込められています。周囲の人たちと共感して物ごとを進めると仕事がうまく回り、皆が満足するように思います。

成長のきっかけは「外」にある

吉田：私は「ワクワクは、これまでの自分の枠の外にある」と思っているんです。未知の「愉しい」がそこにある。

吉川：その言葉、私も好きです。

吉田：人間は、外の世界で学ぶことも大切ですからね。勇気を出して、自らの枠の外に出て「愉しく」やろうとすることが成長につながると思います。

吉川：ある国内営業を担当する新人社員が「夢や理想を実現する為に語学の勉強をしている」と話してくれました。彼は将来グローバルな業務を希望していて、自分で語学の勉強をしているそうです。後輩ながら、この先チャンスが訪れたときにすぐ対応できるよう、武器を身につけようとする向学心に刺激を受け、尊敬しました。成長しようとする彼の姿を見るとうれしいです。

吉田：イシダの目指すべき姿に「世の適社・適者」があります。これは、どんな時代であっても、人々に喜ばれ、社会に必要とされる企業、人であろうという考え方です。時代は絶えず変化しています。本当に大切な事は目に見えにくいものですが、それこそ誠実な心で愉しんで取り組めば、個人の成長と新しい価値創造につながりますよね。

吉川：私は、自分という枠の外に目を向けて、学んでいきたいと思います。

吉田：好奇心を持って外に目を向けると偶然、予想外のとびきり良いものに出会うことがあります。きっとその社員も吉川さんもいつか、思いもよらない成長を手に入れると思います。応援していますよ！

interviewer=Editorial Staffs　head writer=Yoko Nagao

ISHIDA
株式会社イシダ

本社：京都市南区西九条東比永城町
75番地 GRAND KYOTO 3F
TEL.：075-693-7107
https://www.ishida.co.jp
グループ従業員数：3,929名（イシダ単体：1,580名）※2021年6月21日時点
創業：1893年5月
設立：1948年10月
主な事業内容：計量、包装、検査等、これらの技術をベースにした製品の開発と製造、販売、保守に関わる業務全般。

公式ホームページ
様々な職種や
先輩社員たちの声を
ご紹介しています。

株式会社イシダ
管理本部 総務人事部人事課
E-mail：ishida@s.axol.jp（全国共通連絡先）

人材募集
recruitment

営業技術に必要なのは、正直さと誠実さ

営業技術という職種を知っているだろうか？　理系の知識とともに対人営業スキルも求められる。重電の老舗企業、日新電機の若手社員にその仕事とおもしろさについて聞いてみた。

三谷洸平さんは、京都市に本社を置く大型電気機器（重電）メーカー日新電機の関西支社（大阪市）に勤務、営業技術の仕事をして11年目。三谷さんは営業だけでもない、技術だけでもない「営業技術」を楽しんでいる。

日新電機の営業先は電力会社や商業施設、工場、高速道路や鉄道、水処理施設など。営業技術の仕事は、お客様が設置を要望する施設の条件に応じて電気設備を提案すること。営業技術は、自社の他の部署とも連携し、技術的な問題を解決してお客様の要望を実現していくコーディネーター的な役割だ。

「営業技術に電気の基礎知識は必要ですが、学校で学んだ電気とは規模が違うため、入社後、大半の人が勉強し直す必要があります。しかし、それよりももっと必要なことは、相手の話を聞き、自分の意見を伝える力です」。

配電盤を例にとれば、他社製品も含め、使いやすさ・機能・他設備との情報互換の相性など、いろいろな課題がある。商品の特性を把握し、お客様に的確に伝えることが必要だ。

「提案をしたときに『ここまで考えてくれるのか』と喜んでもらい、お客様の信頼を得られたときは、うれしいですね」。

理系出身の三谷さんはもともと、人と話すのが好きで、グループのまとめ役になることが多かった。社交的で理系の知識も活かせる営業技術は、イメージ通りの「やりたい仕事」だった。

三谷さんが考える、営業技術に必要な資質は「正直さ」と「誠実さ」だ。これには、実は失敗談がある。入社1年目のとき、三谷さんは見積書づくりで判断に迷う仕様があった。そのとき上司に「わからない」と正直に相談せずにお客様と話を進めた結果、推測の甘さから会社に損害を与えてしまった。

「私のミスを責める社風ではありません。部の皆で『どうやって損害を取り戻そうか』と考えてくれて、ありがたかった。そして、そのときに学んだのは『正直・誠実であることが一番』です」。

以来、真摯な姿勢を心がけている。

社内は自由で風通しがよく「やるときはやる」貫徹力のある人材が揃う。日新電機は、重電という経済や暮らしに必須のインフラを扱う企業であり、会社の安定経営ぶりは創業100年を超えることからもわかる。安定した現状に満足するのではなく「若手の役割として、積極的に発言をしています」と三谷さん。

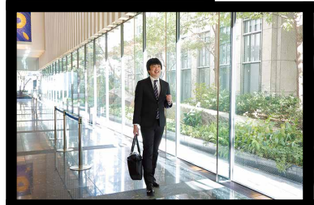
営業技術に興味をもった人は、若手がのびのびと力を発揮できる日新電機にぜひ、注目してほしい。

自由で風通しがよい社内、「やるときはやる」貫徹力のある人が多い

話好きで人好きな理系出身の三谷さん

三谷（みたに） 洸平（こうへい）さん

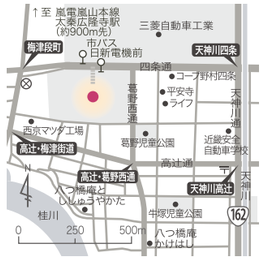
1988年、高知県生まれ。高知工業高等専門学校で電気工学を学び、同校専攻科（大卒と同資格）を経て、日新電機へ入社。もともと研究に没頭するよりは、人と交わって話をするのが好きで、飲み会なども仕切り、初対面でも物おじしないタイプ。入社初年度から営業技術に配属され、今は部下2人とともに活躍する。



NISSIN ELECTRIC

日新電機株式会社

本社：京都市右京区梅津高畝町47番地
https://nissin.jp/
従業員数：連結5,236名（単体2,038名）
※2021年3月末時点
創業：1910年11月　創立：1917年4月
主な事業内容：電力・環境システム事業、ビーム・プラズマ事業、装置部品ソリューション事業
資本金：102億5,284万円
売上高：連結1,247億円※2020年度実績



JOB INFORMATION

正社員募集

「『おっちゃんとおばちゃん』の求人広告を見ての応募です」とお伝えください。

2023年3月大学卒業見込
第2新卒以上歓迎

※2023年3月卒業見込みの方の採用につきましては、2022年6月1日以降に選考解禁します。

文系：営業、法務、経理、調達、他
理系：研究、開発、設計、営業技術、生産技術、品質保証、施工管理、現地調整

【応募資格】2023年卒業見込みの方（第2新卒の方ご相談ください）
【給与】修士了：241,000円、学部卒：217,000円※2021年度実績
【勤務地】京都、群馬、大阪、東京、愛知（転勤有）
【休日】完全週休2日制 土日祝・GW・夏季・年末年始 他（2021年度休日日数128日、有給休暇一斉取得4日含む）
【その他待遇】各種社会保険完備、財形貯蓄、独身寮・社宅、家賃補助、確定拠出年金、退職金制度 他
【連絡先】https://nissin.jp/recruit/newgrads/
☎075-864-9017（人事部 採用グループ 澤田、渡部）
kyujis@ml.nissin.co.jp

interviewer=Editorial Staffs　head writer=Hiromi Nakaoka　photographer=Yasuo Sakai

人材募集
recruitment

業界研究してみた

訪問介護・看護のアドナースの場合

将来、どんなふうに働きたい？ 何の職業に就きたい？
まずは「業界研究」から始めよう。訪問介護・看護を専門に事業を展開するアドナースの仕事現場を、学生２人が見学に行った。

Challenge!

疋田実央（ひきたみお）さん
立命館大学産業社会学部３年生

就職活動中。将来やりたいことは「まだわからない」。気になるのは、会社の人間関係と雰囲気。

竹内淳朗（たけうちあつろう）くん
京都産業大学国際関係学部３年生

就職活動中。国際ビジネスに関心が高い。企業などでのインターン経験多数。

見学

母親と息子の自宅に、ヘルパーのTさんが訪問する。この日は夕食を作る、薬や生活に必要な物品を確認する、次の訪問までの予定を確認するのが仕事だ。

料理をするTさん。「もちろん仕事なんですが、『家に行って、その家事を手伝う』という感覚もあります」

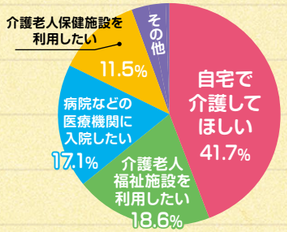
介護をする側のヘルパーさんが、介護をうける側の息子さんに料理を教わるなんて！意外な発見でした

母親向けの夕ご飯。シャケは細かくほぐし、ほうれん草のベーコン炒めは小さく刻んで、食べやすくする。同じメニューだが、自分で食べられる息子さん向けは、シャケはほぐさずそのまま出す。

データで学ぶ

自宅での療養を望む声に応える

訪問介護・看護



出典:●「平成 19 年度 高齢者の健康に関する意識調査結果（概要版）」調査結果Ｐ26　Q29SQ1「もし仮に、あなたの身体が虚弱になって、日常生活を送る上で、排泄等の介護が必要になった場合、どこで介護を受けたいですか」https://www8.cao.go.jp/kourei/ishiki/h19/kenko/gaiyo/pdf/kekka.pdf
●「在宅医療・介護推進プロジェクト　資料３」P10「在宅医療に関する国民のニーズ　療養に関する希望」https://www.kantei.go.jp/jp/singi/yosan24/kokaihr/kokai-mhlw-3.pdf

65 歳以上の高齢者数は 2025 年に 3,657 万人以上となり、2055 年には全人口に占める割合の 25%、つまり４人に１人が高齢者になる見込みだ。内閣府の在宅医療・介護推進プロジェクトチームのアンケート結果によれば、終末期の療養場所について、「自宅で療養したい」と回答した人が 60% 以上にのぼった。訪問介護は、まさに住み慣れた場所で暮らしたいと願う多くの人を支える要のサービスなのだ。

生活の中に入っていく

世界屈指の長寿国・日本で今、注目の介護職。普段見られない職場を見るべく２人の学生が向かった先は住宅街だ。

「介護と聞いて老人ホームを思い浮かべましたが、家に着いてびっくりしました」と疋田さん。そう、アドナースの仕事現場は施設ではなく、『家』だ。介護業界は施設サービスと居宅サービスと大きく２つに分けられ、要介護者の自宅を訪問するのが、訪問介護だ。

この日、訪問したお宅の家族構成は87歳の母と62歳の息子の２人暮らし。認知症のお母さんは要介護度５で、１日のほとんどを寝たきりで過ごす。息子さんは日常的な生活はできるが、足が悪く要介護度ー だ。

ヘルパーのTさんは、料理を作っていた。「何味がいい？」と息子さんに聞きながらフライパンで炒める。湯気のたつ炒め物を箸でつまみながら、「Tさんは料理がうまくなったね」と目を細めるのは、息子さん。以前は料理が不得意だったTさんに、元料理人の息子さんが作り方を教えてくれたのだ。

食後は、お薬カレンダーを見ながら「もう飲んだ?」と確認する。物品を確認し、次回の訪問の日程を確認し、その日の訪問介護の見学は終わった。

「終始、あたたかい雰囲気でした」と竹内くん。都度、要望に沿って対応していく姿が印象的だったと振り返る。

アドナースの訪問介護士、廣瀬吉史さんは「必要なのは相手が何を考えているか理解する力」と強調する。

「無口な人やおしゃべりな人などいろんな介護職員がいますが、共通するのは利用者さんが自分の望む生活を選び、自分らしい暮らしができるようサポートすること。ありがとうと直接言われることの多い仕事です」。

私なら在宅療養を選びたい

介護職員に必要なのは相手の思いを「察する力」だと気づきました。いつか歳をとって、介護される立場になったとき、私はアドナースの訪問介護サービスを受けられたらうれしい。自分の家は落ち着くし、介護職員さんが来てくれたら安心です。

営業にも役立つ対応力

訪問介護は個人の生活に入る仕事。介護職員さんは都度、料理の味付けの好みやお風呂の温度などについて確認していて、対応力が必要だと思いました。既存のモノやサービスを売る仕事と違い、自分自身が商品となる営業の仕事の経験になりそうです。

JOB INFORMATION

正社員募集

「『おっちゃんとおばちゃん』の求人広告を見ての応募です」とお伝えください。

2022年3月 大学卒業見込 | 専門学校 卒業生歓迎 | 第2新卒以上 歓迎

訪問介護職員募集

【内容】ご利用者様のご自宅に伺い、食事・入浴のお手伝い・ 着替え・掃除等、普段の生活のサポートをします。また、外出をして買い物や映画を観に行くなど、一緒に余暇を楽しむ事もお仕事です。
【応募資格】初任者研修 / 実務者研修修了者、介護福祉士、無資格の方もOK !(資格取得支援制度あり) 時短社員もOK!(32時間社員・30時間社員)
【給与】常勤雇用の場合 a+b 247,000円～281,500円
[内訳 a: 基本給180,000円～210,000円 b: 職能手当:～40,000円]、業務手当:10,000円、移動手当:21,000 円
その他:精勤手当:10,000円、
夜勤手当:5,000円 / 回、家族手当:配偶者5,000円・子供3,000円
(3名まで) ※試用期間6か月あり。その間、基本給・職能給は9割支給。
【勤務地】アドナース洛西・アドナース西京・アドナース西院
【勤務時間】常勤:週40時間シフト制
【休日】年間105日相当。
【休暇】年次有給休暇、バースデー休暇(誕生月の内、お好きな日1日)、慶弔休暇、産前産後休暇、育児休暇、介護休暇、エンドレスサマー休暇(年1回、3連休)
【その他待遇】昇給あり(業績による)、賞与年3回(4月・8 月・12月)、社会保険完備
【連絡先】まずは一度電話でお問い合わせください。
TEL:075-754-6174(担当:廣瀬)

ADNURSE
株式会社アドナース
京都市西京区大原野西境谷町2丁目14-10
TEL:075-754-6174
https://adnurse.co.jp
従業員数:130名(うち訪問介護スタッフ40名)
設立:2010年5月
主な事業内容:訪問看護・訪問介護・訪問リハビリ・居宅介護支援事業・障害児通所支援事業・音楽療法事業・視線意思伝達装置販売事業・保育園事業

interviewer=Editorial Staffs　head writer=Miho Shinkai

会社訪問して、先入観をなくそう！

マツヤスーパー編

学生は、意外と「思い込み」で
選択肢を狭めていることが多いもの。
百聞は一見に如かず、会社を訪問して
先入観をなくしてみませんか？

調べた人

吉松 亜友美さん(21)

京都先端科学大学経済経営学部3年生。京都府出身。得意科目は英語。2年生から就職活動を始め、さまざまな業界を見ているが、リモートが中心で会社の様子がわからず、自分がどんな仕事に向くのか悩み中。

教えてくれた人

石田真之さん(57)

マツヤスーパー山科三条店店長。京都府出身。大学時代、マツヤスーパーでのアルバイトを経て、卒業後に入社。新店舗の立ち上げや人事などを歴任。「人に喜ばれ、その感動が返ってくる。働く意味も意義も実感できるのがスーパーマーケットの仕事です。いろいろな職場を見て自分の肌に合う会社を選んでくださいね」。

地元密着で、人の生活に寄り添う仕事。売上高は全国トップクラス。

1961年創業。京都・滋賀で8店舗を運営。1店舗当たり年間平均売上高27億円と全国トップクラスの業績をあげる実力派スーパーマーケット。業績のよさを社員に還元、実働8時間、有給消化率93.0%など福利厚生が充実し社員のポテンシャルも高い。正社員平均年齢は36歳。

仕事は「興味」で選ぶといい

吉松 シューカツもいよいよ本番。どんな仕事を選べばいいか悩みます。

石田 迷ったら、興味のある分野を選ぶといいですよ。興味があれば商品の意味がわかるし、自主的に学びを深められるからです。実は私は内定を辞退した経験があります。内定が出て喜んだのもつかの間、その会社が扱う商品はコンピューター機器。ちっとも商品に興味がもてず、「この会社では長く働けない」と感じ、学生時代にしたアルバイトのなかで一番楽しかったマツヤスーパーを受け直しました。

吉松 何がよかったのですか。

石田 目の前のお客様に喜んでもらえること、それをスタッフ皆で分かち合える楽しさです。私は機器より、人間に興味がある。マツヤスーパーが扱うのは日常の食品なので、自分がお客さんでもある。うちの社員は「お菓子大好き」「バイヤーをしてみたい」など、興味で入社した人が多いんです。

吉松 好き、で選んでいいのですね。マツヤスーパーさんは地域で一番人気のお店ですが、その秘密は何ですか？

石田 お客様が「毎日行きたくなる」店作りをしています。まずは商品力。毎日の暮らしに必要な食材を豊富に揃え、「買いやすさ」を追究しています。たとえばレタス。2人家族でも丸ごと1個は多い。2分の1、4分の1サイズならムダになりません。商品化に時間はかかりますが、そうした積み重ねがお客様に支持されるのです。

吉松 なるほど。

石田 ひき肉も自慢です。一般のスーパーマーケットは工場で作るひき肉を並べるので夕方に品切れになる店も多い。しかしマツヤスーパーは店内でその都度商品化するため、抜群の鮮度を維持できます。

吉松 コーナー全体に2割引の表示が出ている棚があります。魅力ですね。

石田 定期的にコーナーごとの商品を割引きしています。たとえばある曜日は全メーカーのパスタとソースが全品2割引き。特売で特定メーカー品を安くするスーパーマーケットも多いのですが、「いつものパスタとソースを安く買いたい」がお客様心理。そこで調味料、缶詰、チーズやヨーグルト、肉や卵などを曜日ごとに安くしています。

吉松 業務用や郊外型の激安大量販売の店とは考え方が違うのですね。

石田 異なります。買う側にとって、種類や購入量の選択肢が少ないのは実はストレスなんです。いつ行っても商品があり、広々とした清潔な店内で買える。そんなホスピタリティを、マツヤスーパーは大切にしているのです。

スーパーマーケットは品出しだけではない

吉松 進路指導の先生から「流通業界の仕事は品出し」と言われました。

石田 それはショックですね。もし我々が「品出し」だけをしていたら、店は潰れます(笑)。品出しはもちろん大事。でもそこには必ず「何を」「どれぐらい」「どのタイミングで」「どうアピールするか」の深い戦略がある。世の中の動きから流行を見出すプロデューサー感覚や、イベントや料理提案など商品を魅力的に伝える演出センスも必要なのです。

吉松 言われてみればその通りですね。

石田 今や定番のアボカドも20年前は一般的ではなく、お客様の声をヒントにいち早く扱いを始め、売り場で食べ方を紹介しました。次に何のブームが来るのかアンテナを張り、未来の食を創り出す。おもしろいですよ。

吉松 時代を先取りするのですね。

石田 社員にしかできない仕事がマネジメントです。人やモノ、金の動きを管理し、組織全体の目標やミッション達成を目指すのがマネジメント。マツヤスーパーは1店舗当たり年間平均売上高が27億円。対して、日本のスーパーマーケットの1店舗当たりの年間平均売上高は15億円。お客様に支持された結果の表れで、店舗ごとの競争に強いのです。店長は日々大きな数字を動かしています。

吉松 気づかなかった視点です。

石田 早い人で3年目にチーフとなり、その後、店長を目指す人も多いです。トップに立てば企画立案や人の采配、折衝など、世界が広がります。私は毎日「楽しいな」と働いて、気づいたら35年。興味で選んで正解でした。

吉松 自分の先入観に気づきました。社員にはどんな人が向きますか。

石田 自分から能動的に動ける人、チームで協力し合い、互いの役割を尊重できる人が向いています。実際にそんな社員が多いので、皆が気持ちよく働ける社風なのです。次回はぜひ、仕事を見学してください。

株式会社マツヤスーパー

京都市山科区竹鼻地蔵寺南町9番地1（営業本部）
TEL：075-501-3388
http://www.matsuyasuper.co.jp/
従業員数：正社員182名（男子148名　女子34名）
準社員・パート・アルバイト・嘱託　907名
合計 1,089名
設立：1961年8月
主な事業内容：スーパーマーケットの経営、
ショッピングセンターの運営開発

JOB INFORMATION

正社員募集

「『おっちゃんとおばちゃん』の求人広告を見ての応募です」とお伝えください。

2023年3月大学卒業見込 | 第2新卒以上歓迎 | 面接重視

※2023年3月卒業見込みの方の採用につきましては、2022年6月1日以降に選考解禁します。

店舗管理スタッフ

【内容】店長、バイヤー、トレーナー、幹部（商品部・店舗運営部・開発部・管理部・人事総務部・販売促進部）等の候補生として研修、店舗など現場での実務経験を積んでいただきます。
【応募資格】2022年3月に大学・短大を卒業見込みの方（全学部学科）、および既卒者。
【給与】大卒216,000円　短大卒196,960円
【諸手当】通勤交通費（月額50,000円まで支給）、家族手当、時間外勤務手当など。昇給：年1回　賞与：年2回
【勤務地】京都、滋賀
【勤務時間】7：30～25：00の間で実働8時間
【休日】年間合計113日（交替制）、年次有給休暇、特別有給休暇
【福利厚生】健康保険、雇用保険、厚生年金、労災、財形貯蓄、確定給付企業年金（退職金制度）、育児休業制度、育児短縮勤務制度、介護休業制度、介護短縮勤務制度、健康診断、インフルエンザ予防接種一部補助、グループ保険共済制度、社員持株会、リゾートトラスト（リゾートホテル）加入 など
【その他】UAゼンセンマツヤスーパー労働組合
※入社後、加入していただきます。
【教育制度】
新入社員研修、各担当者研修会、
通信教育斡旋、資格取得支援制度 など
【連絡先】
まずは一度お電話ください。
☎075-501-3388
（担当：高谷・横山）

エントリーページ

interviewer=Editorial Staffs　head writer=Kyoko Kurita　photographer=Masami Tsuji

人材募集
recruitment

新社名決定！

サンプラスチックスから

サンシードへ。

名付け親は新入社員

込められた思いと戦略に迫る

プラスチック製品の開発・製造を手がけるサンプラスチックス（株）が、2022年2月、社名を変更した。社内公募で決まった新しい名前は「サンシード」。名付けたのは、なんと入社1年目の社員だという。新社名に込められた思いと新戦略について聞いた。

入社2年目・3年目の先輩に

会社の雰囲気聞きました！

INTERVIEW!

就活で気になるのが会社の雰囲気や社風。
でも、なかなか面接担当者には聞けないもの。
そこで先輩社員に「現場リアル」を聞いてみました。

Fujitakaは
パッションとイノベーションの
融合
– vol.7–

「助けて」と素直に言える社風でした

事業統括本部
第一営業部
システム機器営業課
鳥海貴雅（とりうみたかまさ）さん

「今の仕事は管理・営業および機械のシステムサポートです」入社2年。東京勤務。茨城出身。神奈川大学経済学部卒。

思ってたよりも堅苦しくないのが気に入ってます

設計部
道簱聖也（みちはたせいや）さん

「今の仕事は食品スーパーなどの店舗設計・デザインの担当です」入社3年。名古屋勤務。大阪出身。大阪産業大学デザイン工学部卒。

手がける事業が幅広いから、「好き」が見つかる！

ものづくり企業や商社として複合的な事業を展開するFujitaka。省力化、ロボット化、次世代化を実現するシステム設計から運営、メンテナンスまで幅広く手がけるBtoB企業だ。入社2年目、3年目の2人を訪ねた。

――選んだ理由は何ですか？

鳥海貴雅さん（以下、**鳥海**）学生のとき、Fujitakaの入退場ゲートを設置しているバイト先で、社員さんに出会ったのがきっかけです。機械のトラブルをその場でさっと解決する姿がカッコよかった。実は他社の内定が決まっていたんですが、内定式で違和感を感じていたところでした。そこで内定を返上し、入社試験に臨んだのです。

道簱聖也さん（以下、**道簱**）学生時代から建築を学び、就活では店舗設計ができる設計事務所を探していました。Fujitakaは若い社員が活躍し、店舗だけでなく、ドローンスクールなどさまざまなことを手がけている。「世の中のニーズに応える会社は柔軟で将来性がある」と志望しました。

――入社後のギャップはありますか？

鳥海　機械を動かすだけかと思っていましたが、実際はトレンドをとらえた機械の開発からお客様のフォローまですべてに関わる。私は本部の営業職で経営資料づくりにも携わります。グループ全体の動きやモノの流れをリアルに学べます。私は営業ですが、機械に触る機会も多い。文系なのですが、機械好きの自分を発見できました。

道簱　入社前、職場というものは堅苦しいと想像していました。実際は話しやすく、わからないこともすぐ聞ける雰囲気。新人の私でも、社長や役員と話せる距離の近さにも驚きました。

――失敗はありますか？

鳥海　仕事量と、自分の技量が読めず、仕事を受けすぎてパンクしたことがあります。部内の仲間に伝え、自分も手帳にメモをして業務把握ができるようになりました。「助けて」と言える社風で、本当に助かりました。

道簱　自分の図面に不備があり、途中でクレームが。すぐ上司と業者さんが対応してくれました。そのときの業者さんの「失敗して覚えることもある。これから気いつけや」の言葉は忘れられません。人間関係がいい会社ならではの、チームで働くよさを実感しました。

――どんな人が向いていますか？

鳥海　何かやりたいけど、まだ見つかっていない人ですね。多くの事業を手がけているので、入社してから自分の可能性を見つけることができます。

道簱　同感です。チャレンジさせてくれる会社です。まだなにがやりたいか、将来の目標がぼんやりしていていいんです。きっとなにか、見つかります。

株式会社Fujitaka

本社：京都市下京区東塩小路町606
三旺京都駅前ビル7階
TEL：075-371-9900（大代表）
https://www.fujitaka.com
従業員数：246名（2021年9月末日現在）
創業：1917年
主な事業内容：省力化機器製造・販売・設置・修理、コインランドリー事業提案、機器販売、分煙機器販売、福祉機器、販売・メンテナンス、商業施設設計・施工、その他

JOB INFORMATION

正社員募集

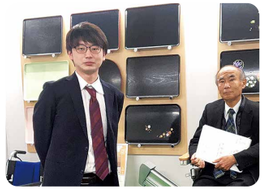
「『おっちゃんとおばちゃん』の求人広告を見ての応募です」とお伝えください。

※2023年3月卒業見込みの方の採用につきましては、2022年6月1日以降に選考解禁します。

- 2023年3月 大学卒業見込
- 文理不問
- 第2新卒以上歓迎
- 専門学校 卒業生歓迎

【職種】■営業職：（システム関連　事業化提案　分煙提案　店舗関連等）　■技術職：（フィールドエンジニア／ITエンジニア（いずれも文系出身者活躍中）設計　施工等）　■事務職：人事・総務・経理・会計・法務・企画・物流等の業務
【応募資格】高卒以上、普通運転免許
【給与】大卒初任給 201,000円　短大、専門卒初任給 178,000円
【昇給】年1回、賞与年2回
【諸手当】通勤手当、扶養手当、住宅手当、資格手当
【勤務地】京都、大阪、東京、名古屋他
【勤務時間】9:00～18:00（実働8時間）
【休日】週休2日制（土、日、祝日、土曜日は会社カレンダーによる、年間115日、会社指定有休5日含む）
【福利厚生】借上独身寮制度、企業独自の医療費扶助制度、資格取得支援制度、退職金制度
【連絡先】株式会社Fujitaka
（人事総務課 鹿島・西野 ☎075-366-9954）
E-Mail:saiyo@fujitaka.com

TAKAMASA TORIUMI



入社のキッカケとなった三ケ尻さん。優しい大先輩です。

自慢の券売機。営業は相手のニーズを深堀りできるのが楽しい。

機械の内部がおもしろい。もしかして自分、理系に進んでもよかったかも？

スケジュールぎっしりの手帳。自己管理も社会人の大切な仕事です。

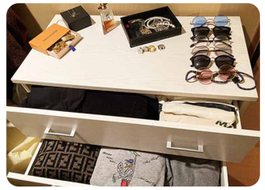
将来の目標は決まっていないけれど、
なにかやりたい！そんなあなたに
Fujitakaは向きます

SEIYA MICHIHATA

自信作のスーパーの壁紙。皆の目にふれるのがうれしい。

同僚と仲がいい。新オープンの店をともに視察。勤務地の名古屋はうまい店が多いです。

図面を組むのはおもしろい。会社の補助を受けて一級建築士目指して勉強中。



ファッションが好きで、服や小物もけっこう集めてます。自分、凝り性かも。

interviewer=Editorial Staffs　head writer=Kyoko Kurita

20歳(はたち)のお客様に、人生で「初めての車(ファーストカー)」を提案。この感動から始まる関係を続けていく!

トヨタカローラ京都の 新入社員レポート 吉河さん@福知山店の場合

4月に入社したトヨタカローラ京都の新入社員も10カ月が経ち、それぞれの配属先でお客様と向き合う日々だ。今回は福知山店を訪ねた。

生まれ育った地元で「街のクルマ屋さん」になる

京都府北部にあるトヨタカローラ京都福知山店。「出身地なので土地勘もあり、燃費などお得な乗り方のアドバイスができる。知り合いも多く、役に立てるのがうれしいです!」と話すのは新入社員の吉河駿平さんだ。

大阪の太成学院大学人間学部健康スポーツ学科で学んだ吉河さん。就職活動では、当初フィットネスジムのインストラクターを目指したが、会社訪問でマニュアル重視の仕事に疑問を感じ、自分自身の就活の方針を見直した。「マニュアルの比重が大きい仕事におもしろみを感じませんでした」。探すうちに、トヨタカローラ京都のリモート説明会に参加。マニュアルはもちろんなく、自分らしく顧客との関係を築く方針に共感した。面談ではていねいで温かい人柄と社風を感じ、採用通知をもらったときはガッツポーズだった。

「でも新人研修は苦労しました」。敬語が上手に使えず、新人5人の中でとび抜けて点数が悪かった。口癖の「〜ですよね」「了解です」は敬語としては認められない。負けず嫌いの吉河さんは頭の中で敬語を繰り返し、配属の6月には口癖を克服した。

ところが大きな失敗が待っていた。車の納入時にお客様に渡す書類に誤字があったのだ。お客様のところに飛んでいき、深く頭を下げた。相手は「新人だから仕方ない。いいですよ」と快く書き直しに応じてくれたという。そのお客様とは納車までにこまめに顔を出し、会話を交わす仲になっていた。

「この失敗で、お客様と信頼関係を築く大切さを実感しました」。

大学時代は「社会人は怒られることもあるだろう」と漠然と思っていた吉河さん。実際は叱責されるのではなく、「次の失敗をしない」方策を教えてくれて、成長を待ってくれる。そんな先輩方のもと、「早く一人前になるぞ」と、誠心誠意学ぶ毎日という。

入社1年目の
吉河(よしかわ) 駿平(しゅんぺい)さん
京都出身。愛車ライズでスノーボードやゴルフなど存分に楽しんでいる。

「話しやすい人でよかった」と年配のお客様にほめられる。

研修期間を終えた10月からは車の販売ができる。ノルマはないが、吉河さんは先輩からサポートを受けながら、月に2台の順調なペースで販売中だ。

昨年末、20歳のお客様が来店した。車は大きい買い物なので悩んでいた。そこで車の好みや乗り方、走行距離をじっくり聞き、燃費と乗りやすさを考えてライズのハイブリッドを提案。実は同じ車を吉河さんは購入し、性能のよさは体験済みだった。

「お客様にとって初めての大きな額の買い物です。納得のいく選択をしていただきたかった。『コンパクト車から始め、いずれ結婚し家族が増えたときに大きくするのがベスト』との説明が伝わったのがうれしかったです」。

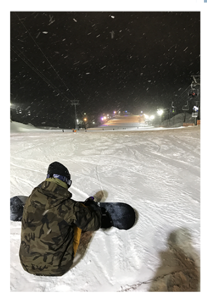
車は人生のよき相棒。お客様のカーライフに寄り添い、一緒に考える。トヨタカローラ京都の営業担当として、自分の未来が見える、記念すべき販売だった。

一方で、83歳の男性客には「安全性能フル装備」の車を提案。「普段の交通手段がない場所にお住まいなので車は不可欠。高齢の方にベストの選択を、と考えました」。疑問や不安を聞き、ゆっくりとした説明を心がけた。成約時に「あなたが話しやすい人でよかった」と言われた。

顧客の事情を察し、個々のニーズに応じた車を提案する。トヨタカローラ京都の一員として吉河さん自身も愛する地元でこれからの未来を開いていく。

レポート1
もとは人見知り。でも大学や会社の研修でずいぶん慣れた。小6から洗濯・掃除などの家事を担当してきたせいか、「気が利く」とよく言われる。

レポート2
仕事で心がけているのはホウレンソウ(報告、連絡、相談)。すぐにやることを意識している。



レポート3
高校までは野球少年。大学時代にゴルフを始め、いまは会社の野球部メンバー。冬はスノーボードに熱くなる。

トヨタカローラ京都株式会社

本社:京都市中京区西ノ京南大炊御門町1-1
TEL:075-463-1111(受付時間 10:00〜18:00)
https://www.corolla-kyoto.com
従業員数:約400名　設立:1961年
主な事業内容:トヨタ車の新車販売、リース、中古車販売、自動車整備、保険代理業、au代理業

JOB INFORMATION

正社員募集

「『おっちゃんとおばちゃん』の求人広告を見ての応募です」とお伝えください。

2023年3月卒業見込　第2新卒以上歓迎　専門学校卒業生歓迎

※2023年3月卒業見込みの方の採用につきましては、2022年6月1日以降に選考解禁します。

営業職(カーライフアドバイザー)

【内容】トヨタ車の購入を提案し、販売する仕事です。子どもたちに車の知識や魅力を伝える活動など、お客さまと信頼関係を結ぶことにつながる取組み全般に携わります。
【応募資格】2022年3月に大学を卒業見込の方(全学部全学科)、および既卒者。
【給与】月給221,000円(2021年4月大卒初任給実績)
【勤務地】京都府下の各店舗(19店舗)
【休日】毎週水曜及び個人休2〜4日　月7日以上
【その他待遇】社会保険完備・諸手当・マイカー購入制度
【歓迎】お客さまとの末永いお付き合いのために、地道に粘り強く取り組める人

自動車整備士(サービスメカニック)

【内容】新車や中古車の整備や車検・メンテナンス・アフターフォローまで。トヨタ自動車の整備コンクールへの参加などを通じて、技術力のレベルアップを目指します。
【応募資格】自動車整備士有資格者
【歓迎】車好きな人、コミュニケーション能力のある人材

【連絡先】まずはいちど電話かメールでご連絡ください。
☎075-461-9191　saiyou@corollakyoto.co.jp

『おっちゃんとおばちゃん』が協力
京都産業大学大西ゼミが研究成果を発表！

京都産業大学経済学部大西辰彦教授のゼミ（演習（ゼミ）I（2年生）では、「地域活性化と企業・行政」をテーマに京都で活躍する魅力的な地域企業について、優れた技術やマネジメント、ビジネスモデル、そして「働く」について、研究を深めました。大西ゼミの研究に、本誌『おっちゃんとおばちゃん』は全面的に協力しています。

去るI月II日、オンラインで研究成果の発表会が行われ、学生たちが9社について独自の目線で掘り下げました。どの発表も甲乙つけがたいながら、ユニオン・エー賞は「株式会社IZUSHI」「株式会社トミナガ」、特別賞は「株式会社三橋製作所」「カトーテック株式会社」を、それぞれの研究チームが受賞。本誌円城編集長から記念品が送られました。

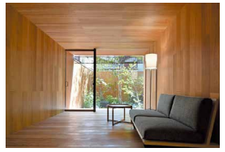
大西ゼミが研究した企業

株式会社IZUSHI
株式会社ウエダ本社
株式会社サンコンタクトレンズ
二九精密機械工業株式会社
株式会社トミナガ
株式会社三橋製作所
カトーテック株式会社
佐々木化学薬品株式会社
株式会社白鳩

学生の方必見！

京町家で過ごす〝上質な暮らし〟
3月25日までの学割プラン受付中！

I日I組限定の京町家I棟貸し「京の温所（おんどころ）」。歴史ある京町家での暮らしを体験できるこの宿泊施設に、期間限定の大学生・専門学校生グループ限定プランが登場。宿泊料金が通常より25%も割引になるほか、人気のTHREEのスキンケアセット、又はワコールBROSメンズアンダーウェアつき。卒業旅行や仲良しグループで、素敵な京都の暮らしを想い出にしませんか？



大学生 専門学校生 限定学割！

想い出旅応援プラン

THREEスキンケアorメンズアンダーウェアつき

通常価格より25%割引で、大学生の皆さまの想い出づくりを応援します。
ご連泊だとさらにお得にご滞在いただけます。

「THREE リズムコンフォート」スキンケアアイテムセット。
もしくはBROS「PANTS HOLIC」〈男性用〉を
おひとり様1つお渡しいたします。

※フロントにて、宿泊者全員学生証にて大学生もしくは専門学校生であることを確認させていただきます。※プランは対象の宿泊施設でのみ実施中。詳しくは右記QRコードからご確認ください。

京の温所
Kyo no Ondokoro

おっちゃんとおばちゃん

WEBサイトが続々充実！ Check it Out!

おっちゃんとおばちゃん 検索
https://occhan-obachan.com

「おっちゃんとおばちゃんとは？」では編集長＆副編集長からの「働くについて考える」メッセージを動画で掲載！

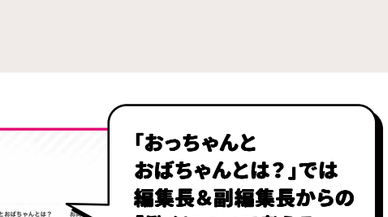
業界でオンリーワン、ニッチトップ、社員が会社を大好き……タグがユニーク。あなたに合った企業に出会える！

『おっちゃんとおばちゃん』のWEB版がバージョンアップ中！掲載の求人情報が「ニッチトップの強み」「社員が個性的」「アイデアが光る仕事」など、ユニークなタグで分類されています。企業の見え方が変われば、感性に合う会社にきっと出会える。

『おっちゃんとおばちゃん』のエッセンスが
ラジオで聴けるのを知っていますか？

サウンド版ハンケイ500m
ハンケイ500m × KBS京都Radio

KBS京都Radio FM 94.9 AM 1143



知る人ぞ知る人気のラジオ番組『サウンド版ハンケイ500m』！本物を知る「京都人」のためのフリーマガジン『ハンケイ500m』のこぼれ話も聴き応えあり。そして最近の人気は「こんな熱いおっちゃん&おばちゃん見つけたよ！」のコーナー。ぜひ、ラジオでおっちゃんとおばちゃんのエッセンスを円城編集長の熱量あふれるトークで聞いてください。

聴き方
▶▶▶ PodcastでMP3をダウンロード
▶▶▶ radikoまたはラジオで聴く
KBS京都ラジオ　毎週土曜17:00～18:00

障がいを持つアーティストたちのアンテナショップ

Things Market UTAU &
ハンケイ5mショップが四条烏丸にオープン！

2022年2月にThings Market UTAUがオープン。
続いて3月にはハンケイ5mショップがオープンします！
全国の福祉施設で生み出されているさまざまなアートプロダクトから
「生活の中に取り入れたい」と思うような魅力的な商品をセレクト。
本企画の趣旨に賛同した7～10のショップのアイテムがお店に並びます！

ショップ住所：京都府京都市下京区烏丸通り四条下ル からすま京都ホテル内1F
（京都市営地下鉄「四条駅」南出口6番 徒歩1分、阪急「烏丸駅」西出口23番 徒歩1分）

最新情報はこちらから
UTAU ホームページ
ハンケイ5m ショップ Instagram

vol.15

関目峻行さんの場合

1990年神奈川県川崎市生まれ。2009年に神奈川大学工学部建築学科入学。2014-2015年神奈川大学修士2年の後期に台湾国立科技大学へ留学。2016年神奈川大学大学院建築学専攻修士課程修了。店舗内装の設計施工会社のデザイナーとして、もんじゃ屋・天井屋・海鮮丼屋などの飲食店や、横須賀・葉山にある別荘の内装デザインの担当を経て、2017年shirokuma design hut. 設立。2017-2018年活動拠点を福岡県北九州市へ移し、民間まちづくり会社や地域住民との協働で飲食店・ゲストハウス・ツーリズムの拠点作りや地域イベントの企画運営、ローカルメディアの創刊を行う。現在は、京都と横浜を拠点に「クリエイティブで新たな日常を」というコンセプトを掲げ、日本全国さまざまな地域で空間・グラフィックなどのデザインと、企画やメディアなどのコトづくりを実践中。

京都産業大学木原ゼミ学生レポート

La Vita

ラ・ヴィータ

京都産業大学の木原麻子ゼミでは「キャリア開発」をテーマとし、ゼミ生は人々の生き方、働き方を学びます。その一環が“La Vitaプロジェクト”。La Vitaは「人生」や「生活」というイタリア語。いろんな人の生活史やキャリアについて、学生がインタビューします。

聞き手：宮﨑智輝　清水敦司　斎藤颯汰　平岩侑馬　若松咲希

震災を経て見つけた自分のビジョン

高校生の時点で建築に興味があった関目さん。大学付属高校からエスカレーターで建築系の学科へ進学するという選択肢もあったが、「大学の外に出て建築にかかわる活動をする研究室に行きたい」という思いで、様々な大学の研究室を調べた結果、学外でのプロジェクトを多く行っているという曽我部研究室がある神奈川大学に進学した。曽我部研究室配属後は、新潟、横浜、熱海など数多くのフィールドで建築に関する活動を行った。

そんな関目さんであったが、大学在学中に建築に対する関心に転機が訪れる。２０１１年に起こった東日本大震災だ。建築物が自然によって破壊され、何もなくなる。そんな光景を目の当たりにした当時、ちょうど研究室に配属される頃であった関目さんは「失われた街」という、被災地の復元模型を作成して展示をするプロジェクトに参加した。その後復元模型を持って被災地である気仙沼大島を訪ね、地域で暮らす人々から話を伺い模型に色を付けていくワークショップを開催した。気仙沼についての理解を深めるなかで、実際に進んでいる復興計画が行政区分でバラバラに説明するためにそこで暮らす人々には全体像が伝わっていないと気づく。そこで関目さんは将来、そのような地域の人々の思いを汲み取り、気仙沼のみならず、地域に寄り添ってつながる活動をしていきたいと思ったと語る。

その後、気仙沼大島での活動の継続、そして海外の建築を学びたいという思いから修士課程に進むことを決意した。大学院時代、気仙沼大島では毎月島民との議論や勉強会を開催し島民目線の復興計画を気仙沼市に提出することや、その過程を大島みらい新聞（全戸配布のローカルメディア）にまとめる形で関わり、留学先の台湾国立科技大学では約10か国から集まった同じ建築学生との交友を深め、現在でもお互いの家を行き来するような関係であるという。

世界各地に「家」を

関目さんは現在個人事業主として、各地に赴き、そこの建築、空間や周辺環境を調べ、そこにどうやったら人を呼び込めるかといった企画作りや設計、デザインを通して企画担当者をサポートしていく仕事をしている。個人事業主といっても一人で何もかもするのではなく、同様にフリーランスの人たちや、その地域の団体と共同でプロジェクトを組んで事業を進めるそうだ。仕事柄、様々な地域を訪れる機会が多い関目さんだが、地域の人たちと仕事の中で関わった後、プライベートで再びその地域に遊びに行った際に「おかえり」と言ってもらうことが一番嬉しいという。今後も「おかえり」と言ってもらえる「家のような場所」を現地の人々に寄り添うことを通じて日本のみならず、世界各地に増やしていきたいと関目さんは語る。

はじめから「決めつけない」

仕事やプライベートで世界各地の人々とつながりを築いている関目さんであるが、そんな関目さんには人と関わるうえで大切にしていることがあるという。それは、「決めつけない」ということだ。私たちは特に初対面の人と話をする時、その人の最初の発言や行動でその人の人格や考えていること全てを固定観念化してしまいがちであるが、それは立場上そのようなふるまいをしただけかもしれないし、たまたまかもしれない。だから予想外の返答をされてもそれを受け入れて一緒に最適解を模索することを楽しみたいし、大事にしたい。先入観を持たないこと、それが自分の中で一番の長所だと関目さんは語る。

interviewer & writer=Tomoki Miyazaki, Atsushi Shimizu, Sota Saito, Yuma Hiraiwa, Saki Wakamatsu

仕事の見え方が少し変わるフリーマガジン
おっちゃんとおばちゃん

vol.028　2022 spring
2022年2月25日発行

企画・制作・営業・発行
株式会社 union.a

Editor in Chief, Publisher
円城新子

Deputy Editor, Writer in Chief
呉玲奈

AE
山田梨世　中山みゆき
北村匠海

Assistant AE
鈴木毬乃

Writer
栗田京子　長尾ようこ
新海美保　中岡ひろみ

Special collaboration
東急ハンズ 京都店

Art Direction, Design
北原靖浩

Illustration
もりはなぐみ

Design
DesignMINUTE
藤井ナツコ

Photograph
辻正美　坂井保夫

Map Design
Design MapLe

Web Design
こうめ工房

Printing & Bookbinding
株式会社グラフィック

協力
京都商工会議所

掲載データは、2022年2月現在のものです。あらかじめご了承ください。

本紙掲載の記事・写真・イラストの無断転用を禁じます。
Copyright©2022 union.a Corp.
All rights reserved.

新型コロナの影響を受けて、WEBによる情報発信を強化しています。
occhan-obachan.com

NEXT ISSUE　2022年5月中旬発行予定！

悩んでいるより、進む方が叶う

今号の特集の「おばちゃん」、上村明美さんの言葉。ある意味、地球を削るダイナミックな職業。そんな土木の世界にあこがれて、建設業界に入社したものの、女性が現場に行くのは慣習もなく、至難の業だったそう。しかし彼女はめげない、くさらない、怒らない。「悩んでいるより、進む方がなんでも叶うでしょう？」。当時まだ業界ではあまり使用されていなかったCG作業を、テキパキと仕事に入れ込み、現場へ行く機会を自分で作り上げた。うまく進まないことは仕事にはつきもの。自分の理想通り運ぶことなんてごく稀だ。悩んでたって始まらない。自分で切り開くていくおばちゃんの言葉は、グッと身に染みた。　編集長 円城新子

今号に載りきらなかった、いい言葉

進路指導の先生から「流通業界は品出し」と言われました。

本誌のP16「会社訪問して、先入観をなくそう」マツヤスーパー編で、学生の吉松さんが教えてくれた言葉です。悪い意味で、衝撃を受けました。学生のみなさんを指導する「キャリア教育」「キャリアセンター」「進路指導」の先生は、どれだけ「働く人の哲学」をご存じなのでしょうか。知ったかぶりで、自分の先入観を若い人たちに伝えてしまうと、人生の選択肢を狭めてしまう「怖さ」に気づきました。

私たちもまた然り。このエピソードを他山の石として、あらためてその仕事の魅力を掘り下げて、伝えていきたいと心から思いました。　副編集長 呉玲奈

新卒も、第二新卒も、就職経験のないあなたも。
「京都新卒応援ハローワーク」に行こう！

京都新卒応援ハローワークは、
常駐する相談員が相談に乗ってくれます。

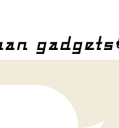
京都ジョブパーク 学生就職センター
（京都新卒応援ハローワーク）
京都市南区東九条下殿田町70　京都テルサ西館3階
電話075－280－8614
平日9時～19時、土曜9時～17時（日、祝日、年末年始は閉庁）

大阪のOSAKAしごとフィールドにも設置しています！
大阪市中央区北浜東3-14　エル・おおさか本館2F（受付）

はたらく人に贈る本

スキルペディア

村山 昇・著
ディスカヴァー・トゥエンティワン
2640円（税込）



本書は、仕事で発揮される重要な能力と意識について４４に分類し、図を交えながら１つずつ丁寧に紹介している。能力がメインテーマの本ながら、ハウツーは一切のっていないのが特徴だ。SPI対策や業界研究、自己分析。就活攻略法に必死になる周囲の空気に焦る必要はない。はたらく本質をじっくり見つめ直してみてはいかが。読み進めると、今の自分に足りない要素を見つけることができるので、働き始めたばかりの若者にもおすすめ。（Lisu）

ハンケイ500m

自分たちの足で見つけた、オリジナルな情報。
本物を知る「京都人」のためのフリーマガジン。

昔から京都の本物を支えてきたのは、伝統的な職人の技。そんな京都の土壌における「職人」というキーワードに着目し、独自の哲学・こだわりを持った現代の「職人」を、ひとつのバス停から半径500mに限定して、じっくり探索。そこで再発見した「京都らしさ」を、皆様にお届けします！

毎奇数月10日発行

京都市地下鉄全駅、京都市内各所にて絶賛配布中！
バックナンバーは www.hankei500.com

日本タウン誌 フリーペーパー大賞
ライフスタイル部門
最優秀賞受賞

第３回京都女性起業家賞の京都府知事賞を受賞！

仕事の見え方が少し変わるフリーマガジン
おっちゃんとおばちゃん
vol.028 2022 SPRING 2022年2月25日発行
企画・制作・営業・発行 株式会社union.a 〒606-8246 京都市左京区北白川西平井町22-2 info@occhan-obachan.com
www.occhan-obachan.com

ハンズのひと手間

手づくり好きな人のメッカ「東急ハンズ」、四条烏丸にある京都店のイベント仕掛け人築地英之さんが「ひと手間」の楽しさをご紹介。今号は、「クラフト」がテーマです。

築地英之（つきじ・ひでゆき）
京都・東急ハンズのこだわりあるイベントはほぼこの人担当。いろんなことに興味が尽きない大阪出身京都好き。

VOL.05 手を使って作るということ

「手の復権」という理念のもと、1976年にハンズは誕生しました。当時はモノの飽和や画一化といった社会的な背景があり、アメリカンカルチャーへの憧れも合わさって、「手の復権」というカウンター的な理念は時代に刺さったと想像ができます。80年代、90年代とサブカルチャーの成熟も経て、趣味嗜好は細分化、ますますモノは飽和します。時代が下り、インターネットが普及、モノだけではなく情報もあふれ、断捨離というスタイルも広まりました。今の時代、「手の復権」は70年代よりも重要な意味をもっているのではないでしょうか。

前置きが長くなりましたが、今回は自分の手を使って何かを生み出すという行為の魅力について、趣味性の高いクラフトから考察してみます。

僕が初めて体験したクラフトは彫金（ちょうきん）です。あまり馴染みがないかもしれませんが、地金を加工してアクセサリーなどを作るクラフトです。その昔、クラフト売場の彫金用品担当を任されたものの、知識が皆無で困り果て、教室に通っていました。

まず体験したのは、シルバーリングを作るために四角い断面の銀線を蒲鉾型にやすりで整形する作業でした。シンプルですが奥が深く、やすりがけに集中して無になっている自分がいました。これは現代人にはかなり重要です。スマホ依存、情報まみれなどに対応するストレスマネジメントや、脳のパフォーマンスをあげる手段にもなりうる瞑想、マインドフルネスそのものです。第一工程から壮大な収穫です。

この後いくつかの工程を経てリングを仕上げますが、作る過程でモノの構造を知ることができます。これも大きな収穫です。普段何気なく見ているモノがこうやってできているのかと感心します。そして手で作るということは機械生産と違って時間がかかるという当たり前のことにも気付きます。コンピュータが発達した現代、脳の機能は拡張できても、手仕事には身体という制限があり、できることは昔も今も変わりません。このことは忙しい現代人にとって大切な何かのように思えます。更にもう一つの収穫として、プロフェッショナルの仕事の素晴らしさ、値打ちをありありと感じることができます。モノを見る目の豊かさまで養えてしまうというわけです。

こうしてあらためて考えてみると、手で何かを作るということは単なる趣味性を超えて、実に贅沢な行為だということに気が付いたのでした。

1 4本菱目打ち 2.5mm

今回は京都店で取扱うクラフトのジャンル、レザークラフト用品をご紹介。革を手縫いする際は針が通らないので、この道具で先に穴を開けます。この工程がきまらなければステッチもきまりません。シンプルで奥が深いのはクラフトの醍醐味ですね。¥935(税込)。

2 手縫い工具18点セット

手縫いのレザークラフトの工具を網羅した決定版。これだけ揃えれば初心者でなくともばっちりな内容。道具以外に革や型紙、マニュアルまで付いてます。道具をずらっと並べるだけでも気分が上がりそうです。¥14,300(税込)。

3 makeU W PenCase キャメル

道具を買う前にまずはちょっと体験してから考えるという方にはこんなものも。裁断や縫い穴開けが完了していて、完成までに必要な手縫い糸と針、説明書もセット。すぐにでも作り始められる親切すぎるキットです。¥4,400(税込)。

CHECK IT OUT！ 烏丸“petit”蚤の市

四条通り沿いの軒先で、だいたい月1回、小さな蚤の市を開催しています。輸出用に量産されていた磁器やヨーロッパ買い付けのアンティーク、昭和の雑貨などが並び、毎回にぎわっています。古き良き時代のプロダクトが放つ魅力やクラフトマンシップを感じるには現物を見るのが一番。通りがかったら是非足を止めてのぞいてみてください。

CREATIVE LIFE STORE
TOKYU HANDS

東急ハンズ 京都店

京都市下京区四条通烏丸東入長刀鉾町27番地 大丸京都店周辺店舗／☎075-254-3109／10時～20時半／定休1月1日
営業時間は変更の可能性があります。